

学ぶことは、人生をより豊かにしてくれます。市では、市民の皆さんの学習活動を支援するため、研修助成制度を設けています。これは、農業・商工業・福祉や生活環境、学術・文化・芸術・スポーツなどの各分野で市民が研修を受ける場合に、その研修経費の一部を助成し、人材育成を図ることを目的としています。この制度を活用して、海外での研修にチャレンジした皆さんの体験談を紹介します。

## 短期研修助成事業体験報告

# 夢にアタック！ 異文化体験

### カンボジア・ボランティア体験 白川真之介さん(児童厚生員 川前)

大量虐殺の現場や地雷処理場、水上生活者の現状など、カンボジアの実状を目の当たりにし、戦争を知らない平和な日本人として生きている自分を感じました。学校訪問やホームステイでは、村の暮らしを体験し、積極的に会話することで、子どもたちの最高の笑顔に出会えました。また、ボランティア活動を通して、「ありがとう」の心を持つことの大切さを感じました。民族や言葉や習慣の違いを乗り越えて、世界中の人がその心に共感することができたなら、いつの日か平和が訪れる気がします。感謝の気持ちを忘れず、今回の貴重な体験・感動を多くの人たちに伝えていきたいと思っています。

### 15日間のアメリカ体験 折笠 允子さん(高校生 梶)

アメリカで過ごした15日間は、本当に未知の世界で毎日が初めての経験ばかりでした。普段、何気なく生活していた当たり前に思っていたことが、国によってずいぶん違うということが、かなり衝撃的でした。また、日本では全部を言葉にしなくてもわかってもらえるようなところがありますが、アメリカでは、はっきりと言葉で表現しないと理解してもらえません。言葉を伝える難しさを感じました。今回の研修を通して、コミュニケーションの大切さを体感し、相手の立場で物事が判断できる広い視野を持ちたいと考えるようになりました。

### この経験を生かして将来設計 高橋 優理さん(高校生 中嘉山回地)

オーストラリアの広い土地と美しい星空を見ると、自分がちっぽけに感じました。今回のホームステイで、たくさんのことを得ることができました。人と触れ合うことの楽しさ、協力し合った友だち。もう一つのすてきな家族。初めて訪れた土地での発見。言葉の違いはあってもコミュニケーションすることの大切さ。何か人のためになるうとする努力。もともと英語力をつけて、またオーストラリアへ行くという決意。この思い出と経験を生かし、将来は教育にかかわる仕事に携わりたいと考えています。



オーストラリアの家族です(前列右 高橋さん)

### アメリカで再発見！日本文化 早坂 美奈子さん(高校生 柳原)

日本文化を伝えるなかで子どもたちに一番人気だったのが「折り紙」。コミュニケーションをとる手段としては最適でした。干支(えと)について話をすると「私の動物(干支)は何?」と盛り上がりました。でも、「私は猿!」と複雑な表情をする女の子もいました。漢字は、出店で掛け軸などが売られていたので、ひとつの芸術として見られているようです。日本ではごく普通のことを、未知で新鮮なものとして受け入れてもらいました。そのことで、日本の良さを自分自身が再発見しました。



スタジオセンターの先生と(右 早坂さん)

### 英語でコミュニケーション 後藤 もも子さん(中学生 朝日町)

農場や学校訪問をしながら、オーストラリアの生活を体験しました。カトリックの学校では、英語の授業を受け、日本で習う発音とは全然違って、とても勉強になりました。オーストラリアの学校では、11時ごろ「ティータイム」があって、お菓子を食べたり遊んだりします。日本にはない習慣なので驚きました。一番の収穫は、英語が通じたこと。初めは、恥ずかしくてあまり話せませんでした。が、勇気を出して話しかけ、帰るころには現地の人と楽しくコミュニケーションができました。これからも、交流を続けていくために、もっと英語の勉強をしていきたいと思っています。



ホームステイ先の息子さんといっしょに(右から2人目 後藤さん)

**研修助成希望者募集中**  
対象 満12歳以上の市民  
研修期間 3日以上1カ月未満  
助成額 経費の1/2以内  
(限度額有り)  
その他 研修終了後、報告書の提出があります。また、研修成果を生かし、市勢発展に資する活動や事業に協力していただきます。今年度は合併が予定されているため、平成17年1月末までに終了する研修に限ります。問い合わせ 中央公民館 0387-2014



マリエッタの警察署で(左 折笠さん)

### 音楽活動のためロンドン留学 宮嶋 明香さん(歌劇団員 東京都)

イギリスは、多数の民族が居住するミックスカルチャーの街です。大学での語学研修は、かなりハイレベルな授業内容でした。先生の言ったことに疑問があるとすぐに質問があり、そのまま討論に発展したりします。こちらでは、授業にどれだけ参加できるかが大事で、どんな意見にも先生は耳を傾けてくれます。音楽のレッスンは、イギリス音楽のスタイルを勉強しました。特に、ヘンデルの音楽を勉強できたことは、貴重な経験でした。授業のプレゼンテーションで、日本の歌やオペラを歌いました。歌う場所がどこであっても、表現の場所があるということは、とても幸せなことだと思いました。



ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ前で(宮嶋さん)